

言語聴覚士募集

耳科領域を専門とする オトクリニック名古屋 覚王山 を開設しました。

我々と一緒に適切な補聴器フィッティングを追求して頂ける言語聴覚士さんを若干名募集しています。

常勤あるいは非常勤の選択肢を用意し、実務経験をお持ちの方を優遇します。就業にあたっては当方での研修を考慮します。待遇も含めて詳細は直接お話ししますので、興味のある方はご連絡頂けましたら幸いです。

柘植勇人

recruit@otoclinic-nagoya.com

業務内容

2026年5月15日、耳科学、聴覚領域の診療を担う専門性の高いクリニックを開業する運びとなりました。

難聴や耳鳴など耳科領域の様々な症状に対して、東海地区の聴覚の専門家が診療を行います。診療における柱は、補聴器に満足されていない人、新たに補聴器を試したい人に、快適な生活を取り戻して頂くことです。

耳科学、聴覚医学を専門とするエキスパートが集い診療を行います。

補聴器診療においては、日本を牽引する診療レベルをめざします。

私のほかに複数の医師が診療を担い、曜日によって2診体制を目指しています。

慢性期の難聴や耳鳴症に対しては、補聴器を用いた対応が柱となります。

そこで、認定補聴器専門店の資格を有する複数の補聴器販売店と連携します。

補聴器診療は、日赤名古屋第一病院の方針を踏襲しながら、今までの長い待ち時間を緩和し、患者さんにとって利便性が高まるように工夫して参ります。

医師あるいは言語聴覚士が、認定補聴器技能者（補聴器販売者）にフィッティング（調整等）の具体的指示を行い、原則 2 ヶ月の試聴期間を設けています。そして、難聴者や耳鳴症患者が補聴器に満足できたことを医師が確認してから、販売を許可する流れとなります。そのため、クリニックの中で、補聴器フィッティング、メンテナンス、販売が行えるシステムを構築します。

○ 医療機関や補聴器販売店から紹介を受ける聴覚専門クリニック

一般的に、補聴器を目的に規模の大きな病院を受診することは敷居が高いものです。そこで、クリニックでありながら高次医療機関と同等の検査や技術を提供し、高いレベルの補聴器診療を行います。

○ 集患エリアは名古屋市全域あるいはそれ以上を想定しています

聴覚専門の医療機関であるため、対象は近隣住人だけでなく、名古屋市全域、あるいはそれ以上を対象に考えています。当医療モールは、十分な駐車場（隣接するフランテの駐車場と契約があり 100 台前後の駐車が可能）を備え、地下鉄東山線の覚王山駅から徒歩 3 分という恵まれた立地にあります。

○ お住まいにお近くの耳鼻咽喉科クリニック、認定補聴器専門店との連携

利便性を考慮して、地元の耳鼻咽喉科クリニックと連携させていただきます。また、補聴器は数ヶ月ごとのメンテナンスが必要ですので、お近くに信頼できる認定補聴器専門店がありましたら積極的な連携を検討します。

○ オトクリニック東京（後述）との連携

○ 「ほちょうきカー」を生かした遠隔診療を予定しています

補聴器フォーラム東海実行委員会の付帯事業として開発して参りました補聴器専用車両「ほちょうきカー」が完成しました。2026 年度は、この専用車両が全国をまわり、デモンストレーションを行うとともに各種の実証実験を予定しています。当院では、遠隔診療を実践する予定です。

開業の経緯

慶應義塾大学耳鼻咽喉科 前教授の小川郁先生が退官後に設立された、聴覚専門の「オトクリニック東京」があります。

その小川先生に学会でお会いした際、「オトクリニック名古屋」を開かないかと声をかけて頂いたのがきっかけでした。

そこで、オトクリニック東京と連携し、継続発展できる医療事業を進めていきます。

日本では、補聴器を購入されても不満足の方がたくさんいらっしゃいます。それを改善するため、我々、聴覚専門職は様々な活動をしています。この東海地区では、「補聴器フォーラム東海」を毎年開催していますので、Web サイトをご覧くださいましたら幸いです。医師、言語聴覚士、補聴器技能者が集い、日本での補聴器事情の改善を目指しています。



聴覚領域に興味があり、患者さんと接することがお好きな言語聴覚士さんをお待ちしています。

我々と一緒に、聞こえづらさや耳鳴りで困っている方々を救いませんか。

よろしくお願いいたします。

2026年 5月

オトクリニック名古屋 覚王山

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

耳鼻咽喉科 柘植 勇人